



政治専攻「演習1・2」
第2期第3次募集



【目次】

1. [募集について](#)
2. [募集に関する注意事項](#)
3. [選考方法](#)
4. ゼミ内容

1. 募集について

【募集スケジュール】

第 1 次 募 集
終了しました。

第 2 次 募 集
終了しました。

第 3 次 募 集	
応 募 期 間	3月29日(月)12時～4月2日(金)12時50分
選 考 期 間	4月3日(土)～4月5日(月)
合 否 発 表	4月6日(火)20時予定 / K-SMAPYIIにて

【応募方法】

K-SMAPYIIより

※ログイン後、上部バナー「アンケート」より応募してください。

2. 募集に関する注意事項

※ 必ず、別紙「政治専攻「演習」第2期第3次募集について(新3年生向け)」および「政治専攻「演習Ⅱ」第2期第3次募集について(新4年生向け)」もよく読んで応募してください。

- (ア)必ず応募期間に応募してください。応募期間外の応募は認められません。
- (イ)K-SMAPYⅡからの応募がなく、課題の提出だけをしているケースがありますので、必ずK-SMAPYⅡから応募も行ってください。
- (ウ)担当教員によって選考方法は異なります。「選考方法」で必ず内容を確認のうえ、応募してください。
- (エ)毎年ありますが、提出期限を超えたりレポートの提出は認められません。
- (オ)合格後に、他のゼミへの変更はできません。

[【目次に戻る】](#)

3. 選考方法

希望する教員の選考方法を確認してください。

[【目次に戻る】](#)

教員名	募集対象	選考方法	提出方法・レポート締切		レポート内容	備考
			面接日時		面接方法	
稲垣 浩	・編入学生	レポート	提出方法	メール送付 inagakih@ kokugakuin.ac.jp	①最近気になった行政・ 地方自治の話題 ②本ゼミへの志望動機	(書式)A4用紙(40 字×36行) (字数)題目①500 字以上800字以 内 題目②300字程 度
			締切日時	4月2日(金)12:50		
		面接	4月5日(金)13:00～		オンラインにて	
上神 貴佳	・現在ゼミ 履修中の現4 年生のみ	レポート	提出方法	アンケート画面で回答	本演習を志望する理由	(字数)1,000字
			締切日時	4月2日(金)12:50		
小原 薫	募集なし					
荻田 真司	・現在ゼミ 履修中の新4 年生 ・編入学生 ・転部・転 科・転専攻 生	レポート	提出方法	メール送付 karita@ kokugakuin.ac.jp	自己紹介とゼミの志望理 由	(書式)Word形 式、A4横書 (字数)800字
			締切日時	4月5日(月)10:30		
		面接	4月5日(月)13:30～14:30		オンラインにて	

※上表の学年は2021年4月1日時点のものです。

教員名	募集対象	選考方法	提出方法・レポート締切		レポート内容	備考
			面接日時		面接方法	
坂本 一登	・新3年生 ・現在ゼミ履修中の新4年生 ・編入学生 ・転部・転科・転専攻生	レポート	提出方法	メール送付 kazutos@kokugakuin.ac.jp	志望理由と現在興味をもっている政治的出来事について	(書式)自由 (字数)1,000字程度
			締切日時	4月2日(金)17:00		
		面接	4月3日(土)14:00～15:00		オンラインにて	
佐藤 俊輔	・新3年生 ・編入学生	レポート	提出方法	メール送付 s.sato@kokugakuin.ac.jp	①このゼミを希望する理由について ②現在興味を持っている国際的事象について	(書式)A4・Wordファイル (字数)1,000字以上
			締切日時	4月2日(金)12:50		
芝崎 祐典	募集なし					
羅 芝賢	募集なし					
藤嶋 亮	・現在ゼミ履修中の政治専攻の新4年生のみ	レポート	提出方法	メール送付 rfujishima@kokugakuin.ac.jp	簡単な自己紹介、ゼミの志望理由、関心のある政治・社会問題についてそれぞれ400字程度で	(書式)自由(必ず連絡がつくメールアドレスをレポートに記載してください) (字数)1,200字
			締切日時	4月2日(金)12:50		
		面接	4月3日(土)12:30～16:00		オンラインにて	
宮下 大志	・新2年生(2つ目のゼミとしての応募含む) ・新3年生(2つ目のゼミとしての応募)	レポート	提出方法	メール送付 miyashita@kokugakuin.ac.jp	「これまでに最も興味を持った講義」	(書式)自由 (字数)1,200字
			締切日時	4月2日(金)13:00		
		・新4年生(現在ゼミ履修中の新4年生のみ)	面接	4月3日(土)13:00		オンラインにて

※上表の学年は2021年4月1日時点のものです。

4. ゼミ内容

[【目次に戻る】](#)

教員名	稲垣 浩
演習テーマ	行政・地方自治の動態分析
演習内容	<p>このゼミは、文献の講読や実地調査などを通じて、行政・地方自治の現状や動態に迫ろうとするものです。2020年度は、公立図書館、生活保護、空き家問題、コンテンツツーリズム、災害対策など、身近な地方自治に関する文献を読んできました。また、現役公務員のゲストスピーカーによる地籍調査についての報告とディスカッションのほか、都内・都内近郊での学生による現地調査など、コロナ禍の中、可能な範囲で「現場」での学びも大切にしています。</p> <p>2021年度も、2020年度と同様、前期は全員で行政・地方自治に関する図書（主に、『ガバナンス』などの地方自治関係の雑誌に掲載された論文、地方自治関係のテキストなど）を読み、報告者による発表、ゼミ生全員によるコメントペーパー（A4 1枚程度）の提出、少人数でのディスカッションを行います。夏休みから後期にかけては、各自の関心に基づいて研究テーマを設定し、それらについて調査・研究した内容を論文にまとめます。夏休み中には、自治体等の視察を含めた合宿や、学期中の他大学との合同ゼミなども行うほか、一年を通じてまちあるきや自治体へのインタビューなどを可能な範囲で行う予定です。</p> <p>課題レポートには、取り上げるテーマが「なぜ」気になったのか、応募者のプライバシーを過度に犠牲にしない程度で具体的に明記してください（題目①）。また、志望動機を300字程度で記入して下さい（題目②）。また、氏名・学籍番号、連絡先のメールアドレスを必ず記載してください。</p>
教科書	授業中あるいは授業前に適宜指示する。
参考文献	<p>伊藤・出雲・手塚（2016）『はじめての行政学』有斐閣 磯崎・金井・伊藤（2014）『ホーンブック地方自治（第3版）』北樹出版 曾我謙悟（2019）『日本の地方政府』中公新書 辻陽（2019）『日本の地方議会』中公新書 など</p>
備考	<p>上記の参考文献は、基礎的な知識となる行政・地方自治の現状を知るための参考になる文献です。また、行政・地方自治に関する基礎的な知識を習得するため、行政学A・B及び地方自治論A・Bを並行して履修することが望ましいです。</p> <p>面接は指定の日オンラインで行いますが、時間については、応募者とメールにてあらかじめ調整します。そのため、提出するレポートに連絡先となるメールアドレスを必ず記載し、稲垣からのメールを必ず確認するようにしてください。</p> <p>また、面接時には、志望動機等のほか、ゼミでの学習に必要な能力について確認するため、これまでの読書経験や最近読んだ本についてお聞きする予定です。</p>

[【目次に戻る】](#)

教員名	上神 貴佳
演習テーマ	歴史としての平成と日本政治
演習内容	<p>平成も約30年をもって、令和という新たな時代を迎えることになった。歴史としての平成をどのようにとらえればよいのだろうか。とくに昭和との関連で平成の政治や経済、社会の課題を理解することを試みつつ、次の時代を展望してみたい。</p> <p>近年、平成を振り返るさまざまな書籍が出版されている。本演習の教科書としては、小熊編（2014年）、薬師寺（2014年）、佐藤・片山（2018年）などを用いることにする。教科書の読破は、受講生に求められる最低限の課題である。複数のテキストを読み比べつつ、本演習のテーマ（歴史としての平成と日本政治）について、自分なりの理解を得られるように、各自が学習を進めてもらいたい。</p> <p>本演習の進め方については、グループに分かれて、報告班と質問班を交互に担当することを想定している。また、いずれの担当になるかによらず、毎回、参加者全員がレジュメを提出する。演習の最後には、各自が本演習のテーマに沿って、レポートを作成して提出してもらう。</p>
教科書	<p>小熊英二（編）『平成史【増補新版】』河出ブックス，2014年。 薬師寺克行『現代日本政治史』有斐閣，2014年。 佐藤優・片山杜秀『平成史』小学館，2018年。 など</p>
参考文献	必要に応じて、適宜紹介する。
備考	

[【目次に戻る】](#)

教員名	荏田 真司
演習テーマ	ベーシックインカムの可能性
演習内容	<p>コロナ感染症が流行して、経済活動が停止した際、一時的であれ、収入を失う人が数多く生まれました。これに対して、政府は、国民全員に10万円の特別定額給付金を配付することで、当面の危機を乗り切ろうとしました。</p> <p>今回の特別定額給付金のように、所得によらず一定の給付金を国民全員に支給する(ただし、一時的にではなく、継続的に)考え方をベーシックインカム(基礎的所得保障)と呼びます。右派・左派を問わず、以前から議論に上っていたベーシックインカムは、コロナ禍の中で、現実的な政策選択肢の1つとして考えられるようになってきました。</p> <p>それでは、ベーシックインカムには、どのような長所と問題点があるのでしょうか。ベーシックインカムが主張される背景には、どのような考え方が潜んでいるのでしょうか。来年度の演習では、ベーシックインカムをテーマに、その実現可能性と背景を考えていきたいと思います。</p> <p>演習は、全員で質疑応答や討論をしながら文献を読んでいく形式で行われます。参加者は、報告や議論によって、毎回積極的に演習に関わってもらいます。また、夏休み以降に、自分の選んだテーマについてゼミ論文を執筆してもらいます。</p> <p>応募する人は、あなたの人となりを理解することができる「自己紹介」と「ゼミの志望理由」を合わせて800字程度にまとめて、4月5日(月)10時30分までに、メールでkarita@kokugakuin.ac.jpまで送付してください。折り返し、面接用のZoom情報を送付しますので、確認しやすいメールアドレスから送ってください。現ゼミ生には、別途指示します。</p> <p>なお、選考にあたっては、積極的に参加する意欲のある人を優先します。</p>
教科書	<p>ルトガー・ブレグマン、『隷属なき道』、2017年</p> <p>ガイ・スタンディング、『ベーシックインカムへの道』、2018年</p> <p>アニー・ローリー、『みんなにお金を配ったら』、2019年</p> <p>デヴィッド・グレーバー、『ブルシット・ジョブ』、2020年</p> <p>など(全部読むわけではありません)</p>
参考文献	<p>原田泰、『ベーシック・インカム 国家は貧困問題を解決できるか』、2015年</p> <p>井上智洋、『AI時代の新・ベーシックインカム論』、2018年</p>
備考	<p>面接当日に都合が悪くなった場合や、ゼミについての質問や文献等についての質問がある場合には、karita@kokugakuin.ac.jpまでメールで申し出てください。</p>

[【目次に戻る】](#)

教員名	坂本 一登
演習テーマ	国際関係のなかの日米戦争
演習内容	<p>来年度の前期は、日本の開戦過程を、アメリカやイギリスの動向を踏まえながら、考えていきたい。戦争には、必ず相手が存在し、決して日本側の一方的な意思決定のみによって起こるわけではない。日本はなぜ敗戦が必至の戦争に突入していったのだろうか、その問いを、国内の政治的要因のみならず、国内の経済的要因、さらにはアメリカやイギリスなど国際的要因を加味することでより立体的に考察する。具体的には、まず国内の経済ファクターについて検討した上で、アメリカの動きを考える。一般的に、日米戦争は日本の暴走によって勃発したと見なされることが多い。だが逆に、アメリカ側が日本を戦争に追い込んでいったのではないかという見方も根強く存在する。つぎに、イギリスはどのような対応を、日本の開戦過程においてとったのだろうか。この問題を、イギリスのインテリジェンスつまり国家による情報収集とその分析を中心に考え、日本との比較を行いたい。その後、英米両国と対峙した、日本の陸軍が明治以来どのように発展し変貌をとげてきたのかを見ていきたい。</p> <p>前期は、報告者を1人決め、その報告を聞いた上で、自由に議論を行う。ゼミ生は、必ず1回は報告する。後期は、小論文を執筆する。自ら選んだテーマについて、その構想を報告し、全員で議論しながら、ゼミ論（12000字程度）を完成させる。報告と小論文の完成は、単位取得の必須の要件である。</p>
教科書	<p>牧野邦昭：経済学者たちの日米開戦：秋丸機関「幻の報告書」の謎を解く（新潮選書） ジェフリー レコード：アメリカはいかにして日本を追い詰めたか：「米国陸軍戦略研究所レポート」から読み解く日米開戦（草思社文庫） 小谷 賢：日英インテリジェンス戦史：チャーチルと太平洋戦争（ハヤカワ・ノンフィクション文庫） 小林 道彦：近代日本と軍部 1868-1945（講談社現代新書） 伊藤 桂一：兵隊たちの陸軍史（新潮選書）</p>
参考文献	その都度、指示する。
備考	<p>演習は、毎回出席が基本である。真面目で熱意のある学生を希望する。 面接の時間が都合悪い場合、メールにて相談してください（kazutos@kokugakuin.ac.jp）</p>

[【目次に戻る】](#)

教員名	佐藤 俊輔
演習テーマ	主権国家体系とその変容を考える
演習内容	<p>演習の前期には、国際政治における主権国家体系に生じてきた変化について、理論的な側面からアプローチする。国際政治における主権国家体系と、あるいはその変化の捉え方について、これまでリアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズムなど多様な理論潮流のなかで考察と検討がなされてきたことは論を待たないが、今回の演習では特に英国学派という理論について焦点を当て、検討を行っていききたい。</p> <p>英国学派は「国際社会」という概念を用いて国際政治を捉えてきた理論潮流であり、その国際社会の拡大という見方はウェストファリア条約以来の国際関係の変化を歴史のなかで捉えなおすことを可能としている。また、そのような英国学派の研究が進展する中で、ヨーロッパからの主権国家体系の拡大という視点を超えて、それ以前の、あるいはその外部の国家体系へとその視角を広げる試みもなされてきた。そのため、やや理論的な側面が強くなるが、国際政治の原理とその変化を捉えようとする重要な潮流のひとつとして、本演習の前期では英国学派について深く学んでいきたい。</p> <p>その上で、後期にはゼミ論文を書くことをひとつの目標とするが、それと並行して演習の中でさらにEUに関する文献を輪読していくこととしたい。近年度重なる危機に見舞われているEUであるが、やはり域内では地域統合を大きく深化させる中で主権国家体系を変化させてきた側面が指摘できる。そのEUの歴史と制度、そして政策のなかで表れている課題とはどのようなものかを検討していくことにより、国際的な統合がもたらす新たな問題とは何かについて考えていくこととする。</p> <p>これらの文献の輪読を進めながら、各人には演習のなかでゼミ論文へ向けた研究と、研究に基づくプレゼンテーションを行ってもらおうこととします。</p>
教科書	バリー・ブザン『英国学派入門—国際社会論へのアプローチ』日本経済評論社、2017年 池本大輔他『EU政治論』有斐閣、2020年
参考文献	その他の論文や関連書籍について開講時にご案内します。
備考	※上記教科書は予定であり、追加・変更することがあります。

[【目次に戻る】](#)

教員名	藤嶋 亮
演習テーマ	ナショナリズムの現在・過去・未来
演習内容	<p>「グローバル化」の時代といわれる今日においても、ナショナリズムは弱まる気配はなく、むしろその影響力を増しているように見られます。また、ナショナリズムは、日常生活での情緒・感情と結びついた現象（スポーツでの代表チームの応援など）であると同時に、国際政治を左右するような高度な原理という多面的な性格を持ち、そのあらわれ方も時代や地域によって大きく異なります。本演習では、主に政治現象としてのナショナリズムに焦点を合わせ、その歴史的変遷や多様なあり方、今後の展望などについて考察してみたいと思います。授業の進め方としては、前期はナショナリズムをテーマとした必読の新書・概説書、後期はナショナリズム論の古典的文献を全員で読み進めます（輪読形式）。後期はさらに、参加者が関心を持った個別テーマの報告も予定しています。また、初回の授業時に、各回の報告担当者／担当班を決定し、第2回目以降、主に担当者の報告と全員が毎回事前に提出するコメントに基づき、内容の確認や検討、討論を行います。取り上げるテキストはいずれも骨太の内容であり、関係するテーマ・領域も多岐にわたりますので、自分なりの関心・問題設定に基づいて、毎回の演習に臨む姿勢が期待されます。</p>
教科書	塩川伸明『民族とネーション』（岩波新書、2008年）、藤原帰一『戦争を記憶する』（講談社現代新書、2001年）、オリヴァー・ジマー『ナショナリズム 1890-1940』（岩波書店、2009年）など。
参考文献	授業の中で適宜紹介します。
備考	

[【目次に戻る】](#)

教員名	宮下 大志
演習テーマ	「日本の政治、日本の民主主義、そして日本の未来」
演習内容	<p>日本の政治、日本の民主主義、そしてこれからの日本のあり方について論じてみたいと思います。</p> <p>日本の政治と民主主義は、かつては「55年体制」のもと、かわりばえのしない、そしてあまりよくないイメージで見られてきました。しかしみなさんの生まれる前、その「55年体制」が崩れ、また日本の置かれた状況の変化もあって、55年体制の自民党長期政権の時代とは違う要素も出てくるようになりました。一応、政権交代も起こるようになりました。</p> <p>しかし、近頃の政治を見ていると「本当に変わったのか?」、あるいは「進歩はしているのか?」と首を傾げてしまう気持ちも湧いてきてしまいます。</p> <p>そこで、来年度のゼミではこの日本の政治・民主主義について、どう評価すべきか、今後はどうなるのが望ましいかなどを論じてゆきたいと思います。</p> <p>そしてそのために、過去の日本の政治を検討したり、現在の問題点を考えたり、今後のあるべき姿を議論したり、ということを行なう予定です。</p> <p>そしてその際には、欧米との比較や理論的考察も盛り込めたら、とも考えています。</p> <p>なお、応募者は、「これまでもっとも興味を持った講義」という題目で、これまで履修した講義のうち、もっとも興味を持った講義について、その内容を紹介しながら、そこから自分が何を考えたかを記したレポートを期日までにメール添付で提出してください。</p> <p>なお、現ゼミ生は選考を免除します</p>
教科書	開講時に指定します。
参考文献	必要に応じて紹介します
備考	<p>面接は、zoom を使ったのオンライン面接となります。個別面接ですので、全体としては4/3(土)の13時開始ですが、一人一人の面接開始時間は異なります。zoom 面接の URL と、個人の面接開始時間は、レポート提出したアドレスへの返信で前日に通知します。通知した開始時間の2、3分前にログインし、待機しててください。</p> <p>なお、面接は一人15分ほどを予定しています。ですので、応募者が例年になく多くならない限り、遅くとも14:30には最後の面接を終えられるかと思います。</p>